

第7期 静岡市行財政改革推進審議会 諮問事項の概要

【背景と課題】

- ・ 少子高齢化による生産年齢人口の減少※1
→ 社会全体で人手不足が深刻化、現役世代の社会負担が増加※2
- ・ 高齢者の増加により介護サービス等の需要も増加※3 → 担い手の確保が必要

3次総の目指す「成熟・持続可能な都市」の実現に向けて、今後の行政サービスをどう維持していくのか（人手不足の中だれがその役割を担うのか）が課題

【解決の方向性】

潜在的な労働力を活用して対応
= 元気な高齢者にその役割を担ってもらってはどうか？

3次総、5大構想においても、健康で長生きできる生活を満喫できる「健康長寿のまち」の実現に向けた各施策を推進

※1～3 参考資料1～3参照

【行財政改革の視点】

<行財政改革推進大綱>

基本方針Ⅰ	基本方針Ⅱ	基本方針Ⅲ
市民協働・官民連携の推進	質の高い行政運営の推進	持続可能な財政運営の確立
〔改革の方向〕 ①市民参加・協働の推進 ②官民連携の推進と民間活力の活用 ③開かれた市政の推進	〔改革の方向〕 ①人材育成・活用の推進 ②効果的な組織体制の確立 ③ICTの高度利用による情報化の推進	〔改革の方向〕 ①健全な財政運営の推進 ②効果的なアウトソーシングの推進 ③地方公営企業の経営改善の推進

<高齢者に働きがいをもって活躍してもらえば…>

健康寿命が長い※4、首都圏から近距離である（＝アクティブシニアの取込）といった本市の利点を活用しつつ、
・ 現役世代の負担が軽減 ・ 健康寿命の延伸による社会保障費の伸びの抑制
・ 現役世代（若者世代）の将来への不安の解消 などが期待される。

「市民協働・官民連携の推進」や「質の高い行政運営の推進」の視点から高齢者の働きがいを議論することで、「持続可能な財政運営（働き手の増加による所得・消費の拡大（税収の確保）、将来の福祉・介護サービスの財政負担の軽減など）」にも繋がる。

※4 参考資料4参照

【諮問事項】

「健康長寿のまち」の実現に向けた高齢者の就労促進について
－行政サービスの担い手としての高齢者－

【審議内容】

【第1回】（11/27）

諮問・意見交換

審議の進め方、高齢者就労に関する現状、市で検討中の取組の状況 など
← 意見交換を行い課題認識を共有、第2回以後の審議の方向を確認してもらう

※意見交換後の議論の流れ（イメージ）

【第2、3回】（12/25、1/29）

審議

<論点>

視点：官民連携の推進と民間活力の活用、人材育成・活用の推進、効率的な組織体制の確立

事例：行政サービスに関する業務、民間における高齢者就労の先進例 など
方向：業務分類、環境整備等による就労場の創出、就労場の効果的な情報提供等の方法（プラットフォーム） など

【第4回】（2/16）答申素案の検討（まとめ） 【第5回】（3/29）答申

【参考（市で検討中の取組）】

- ※ 民間も含めた高齢者の就労促進策については、別途策定中の「健康長寿のまち」の実現に向けた計画の重点プロジェクトの一つとして検討を進めていく予定（H29～）

<「健康長寿のまち」の実現に向けた計画>

〔施策体系〕

〔3つの重点プロジェクト〕

「富士山型」で構成される各分野の取組を推進

〔山頂〕医療・介護の専門職の連携による支援

〔山腹〕市民の連携による地域での支え合い

〔裾野〕市民の自主的な健康長寿の取組の促進
－見える化と「知・食・体」の取組－

就労、ボランティア活動、生涯学習等

- ①「自宅ですっと」プロジェクト（顔の見える小圏域での取組拡大）
- ②健康度等に応じた社会参加促進プロジェクト

健康づくりや生きがい・社会参加、生活安定の観点から、高齢者が生涯現役で働き活躍する環境を整備

- ③インセンティブ（動機づけ）による意欲向上プロジェクト